ご使用の際は、巻末の（使用上のご注意）を必ずお読みください

取扱説明書番号
M487-RGXD
室内用

電波時計 取扱説明書
（掛時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

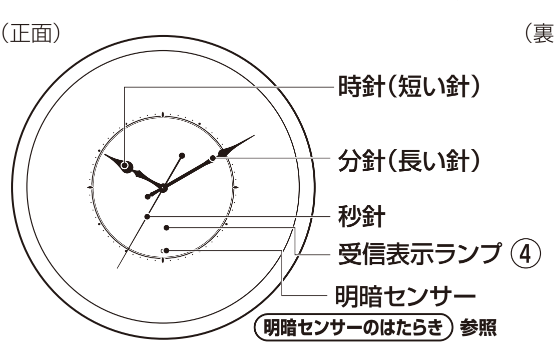
製造
発売元 リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

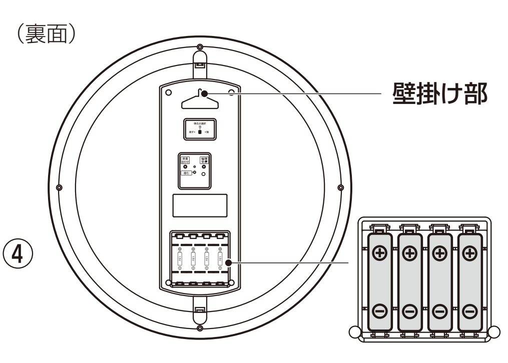
各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

（正面）



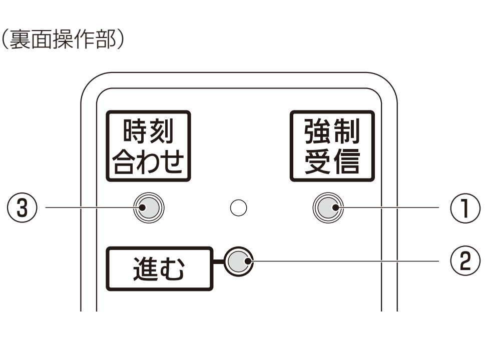
（裏面）



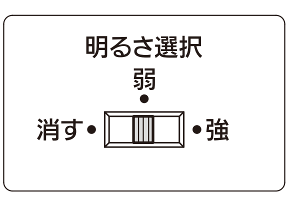
必ず同じ種類の電池を4個入れる。

⚠注意 **電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。**

（裏面操作部）



明るさ選択スイッチ



①強制受信 ……… 電池を入れた直後に押します。受信機能をONにして、受信を開始します。

②進む……………… **手動時刻合わせ状態のとき**
押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。
手動時刻合わせ状態以外のとき
押すと電波受信機能がOFFのときは、受信表示ランプが2回点滅します。ONのときは消灯したままです。

③時刻合わせ……… 約2秒間押し続けると**手動時刻合わせ状態**になります。手動時刻合わせ状態のときに押すと、通常の時刻表示に戻ります。

④受信表示ランプ… 受信の成功/失敗、受信機能の設定状態などを点滅や消灯でお知らせします。

1. ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、（手動での時刻合わせ）を参照してください。
◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

❶ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を4個入れる

❷ **強制受信**を押す （**標準電波ー受信の流れとサーチ機能**）参照
針は12時に移動して、受信が終わるまで停止します。
※電池を入れた後は必ず**強制受信**を押してください。
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
※受信中はボタン操作をしないでください。

❸ （**時計の掛けかた**）に従い、時計を確実に掛ける

❹ 16分待って受信結果を確認する
受信が終わると針が動き出します。
受信表示ランプで受信結果をお知らせします。
2秒に1回点滅：受信**成功**（正しい時刻）
消灯　　　　　：受信**失敗**（不正確な時刻）→（**標準電波を受信できない場合**）へ

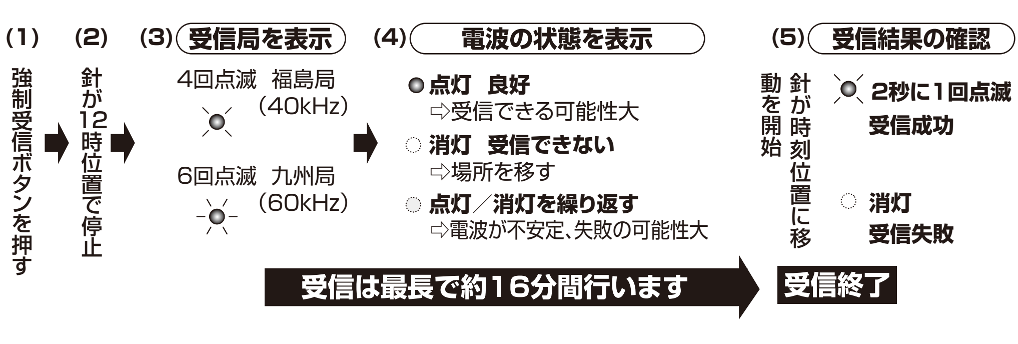
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて**強制受信**を押してください。
※受信表示ランプは25時間以内の受信結果を表示します。

2. 照明の使いかた……………………………………暗くなると照明する

明るさ選択スイッチを「強」または「弱」にすると、明暗センサーに連動して暗くなると文字盤面を照明します。明るさは「強」「弱」の2段階です。お好みに合わせて選択してください。照明を使わないときは「消す」を選択してください。
○見えかたは、周囲の明るさや個人差、暗さへの目の順応により変わります。

電波を受信しているときは消灯します。これは、電波を受信しやすくするためです。

標準電波ー受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……………………受信しやすい所を探すには

①窓際やベランダで (4) まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。
受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。

②時計を設置したい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。
消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

- **朝までそのままにしておく**
  一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- **場所を変える／受信をやり直す**
  電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面を電波の送信所に向けて、**強制受信**を押して再度受信を行ってください。
- **時刻を合わせて使用する**
  ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。**電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。**

手動での時刻合わせ………受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

操作 ＊通常の針の動きのときに操作してください。
❶**時刻合わせ**を2秒間押し続けて手動時刻合わせ状態にする
手動時刻合わせ状態になると、分針が1〜2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。**この状態になってから時刻を合わせます。**
❷**進む**を押して時刻を合わせる
進むを押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。
❸手動時刻合わせを終わるときは**時刻合わせ**を押す

※4分間ボタン操作をしないと通常の時刻表示になります。手動時刻合わせ状態の時刻から時を刻み始めます。
※**強制受信**を押すと手動時刻合わせを中止して受信を開始します。
※手動で時刻を合わせても、電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFFの切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。
操作 ＊通常の針の動きのときに操作してください。
時刻合わせと**進む**の2つのボタンを**同時に5秒間押し続ける**と電波受信機能のONとOFFが切り替わります。
電波受信機能が切り替わると、受信表示ランプの点滅回数でお知らせします。
ON状態になったとき：5回　　OFF状態になったとき：2回
OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。

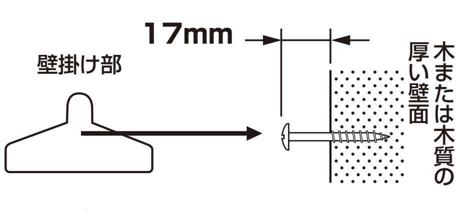
■電波受信機能の状態を確認するときは、**進む**を押してください。受信表示ランプが2回点滅したときはOFFになっています。ONのときは消灯したままです。

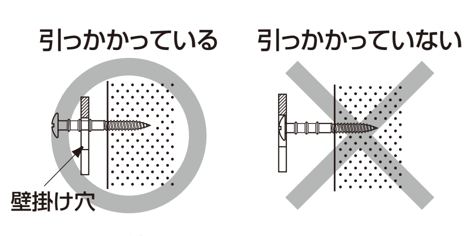
時計の掛けかた

⚠注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
○掛け具は壁掛け部に掛けてください。他の部位には掛けないでください。

■**付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。**木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。





■石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

明暗センサーのはたらき……………暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針を12時位置で停止させます。また、明るさ選択スイッチが「強」または「弱」のときは照明が点灯します。
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

電池の交換時期お知らせ機能……………常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると常時秒針が12時位置に止まり、照明機能と電波受信機能が停止します。
時針と分針は、このような状態になってから1ヵ月程度動き続けますが、早めに新しい電池に交換してください。
※電波を受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、秒針が12時位置に止まります。

⚠注意 電池の交換　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
  交換するときは、すべて新しい電池に交換してください。
- 電池は製品仕様欄の「電池寿命の目安」を参考にして、定期的に交換してください。
  照明を使用しないと電池は長持ちしますが、電池を長期間使用すると液漏れが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。

※電池は、同じメーカーの同じ種類の電池を使用することをお勧めいたします。
- **電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れない。**

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10〜 50℃　＊結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度　秒針　±1秒　　時分針　目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合　　平均月差±20秒（温度が5〜35℃のときのクオーツ精度）
推奨電池	単3形アルカリ乾電池　JIS規格　LR6　4個
暗所自動照明	明るさ選択式　強弱の2段階　明暗センサーに連動して点灯または消灯
暗所秒針停止	明暗センサーに連動して12時位置に停止
電池交換時期お知らせ機能	常時秒針が12時位置に停止
防滴防塵機能	なし

電池寿命の目安　照明の使用時間の想定は1日あたり7時間点灯。

明るさスイッチ		消す	弱	強
使用電池	アルカリ乾電池	約4年6か月	約1年2か月	約6か月

※電池寿命は、標準電波の受信に成功しているときのものです。

電波時計機能	電波の受信に成功すると時刻を修正
受信局	福島局/九州局　自動選択
受信回数	最少1回/日、最多6回/日
受信ON/OFF	ボタン操作
手動時刻合わせ	ボタン操作

自動受信開始時刻
受信状態により、受信回数は変化します。
2時15分59秒、3時15分59秒、4時15分59秒、
12時15分59秒、13時15分59秒、14時15分59秒
＊秒針は受信中12時位置に停止し、受信が終わると動き出します。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　　木ねじ　1個、　保証書　1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息するおそれがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう
- プラス(+)、マイナス(−)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
  （例：Panasonic EVOLTA（エボルタ）乾電池）　※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

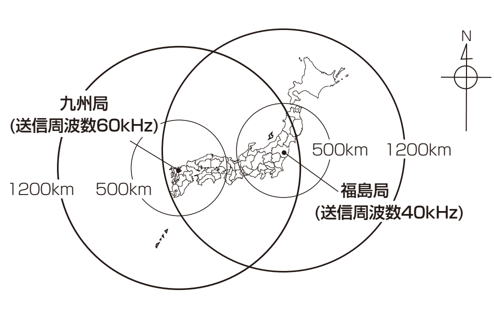
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- **修理部品の保有について**
  電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- **修理可能期間について**
  無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先　リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/
商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号（型番）をご確認ください。
例. 4MY○○○、4MYA○○、8MY○○○、8MYA○○
お客様相談室：0120-557-005　受付時間 9:00〜17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。